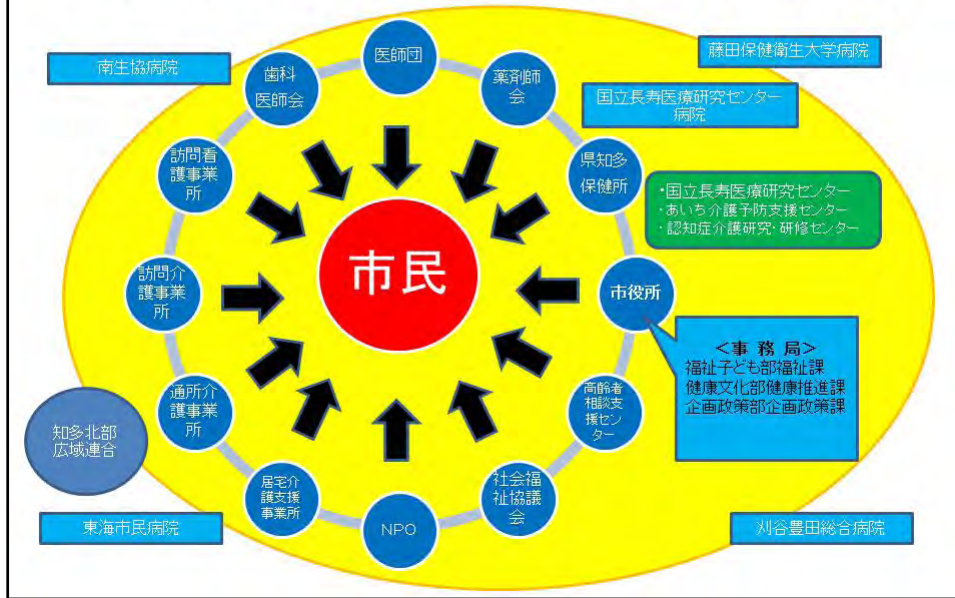


7. 大府市の在宅医療の組織図



8. 活動の25年度ロードマップ

項目	概要	25年度		
		1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療介護連携拠点推進事業準備会議(代表者 9団体)	23日	20日	13日
	地域医療連携研究会	14日		
	地域包括ケアシステム構築支援事業(社会福祉協議会主催 市補助事業)		1日 23日	11日 23日
	認知症地域支援ネットワーク検討会議		24日	
	元氣な幸福社会を目指す検討会議(8団体)		5日	10日
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査の内容検討	6日	アンケート収集 3日 10日	アンケート案作成
	在宅看護事業所訪問			
	医師例会において役員等の調整演出	28日		
	歯科医師例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			12日
	薬剤師会例会において事業説明と協力依頼、委員の選出			26日
2 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	大府健康長寿サポート会議に参加	16日	19日	18日
知多郡医師会主催の医療・介護・福祉の連携強化に関する学術講演会に、在宅医療介護連携職員を動員し、事務局も参加して、電子送付の学習	25日			
地域医療ネットワーク(Human Bridge)について学習		25日		
在宅医療・介護チーム情報共有研究会	30日			
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターへの訪問打合せ		10日	
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	市民公開講座、長寿医療研究センターを会場に「在宅医療の現状と未来」をテーマとした市民公開講座を開催し、市民参加		22日	



9. 活動の26年度ロードマップ

項目	事業名	26年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者)	14日	20日		31日					9日	20日		29日
	24時間体制WG		22日										
	情報共有(ICT含む)WG		22日										
	認知症対応WG												
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査	実施	回答	集計	分析	まとめ	まとめ	まとめ					再調査
	24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援							認可					
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催	〇会議	〇会議	〇会議	〇会議			〇会議	〇会議	〇会議		〇会議	〇会議
	職種別研修会 介護支援専門員、訪問看護師等		18日 9月		〇			〇					
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	在宅医療に関するフォーラム							企画	講師依頼	参加依頼	チラシ 作成	PR	
	パンフレット等市民版							企画	実施予定				完成
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム							企画	講師依頼	参加依頼	チラシ 作成	PR	開催
	パンフレット等関係者版							企画	実施予定				完成 関係機関 への配布



10. 指定事業の分類

項目	事業名
1 多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	在宅医療・介護連携推進会議(代表者) 課題別ワーキンググループ ○24時間体制ワーキング ○情報共有(ICT含む)ワーキング ○認知症対応ワーキング 地域医療連携研究会との連携
2 在宅医療従事者の負担軽減の支援	関係機関のアンケート調査 24時間対応の在宅医療看護介護体制の情報収集と設立への支援
3 効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	多職種連携による地域ケア会議の開催 職種別研修会の開催 居宅介護支援専門員、訪問看護師等 在宅医療に従事する研修会について関係機関に情報提供し、参加を促す。
4 入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	長寿医療研究センターとの支援病棟 近隣の総合病院等の地域医療連携室との連絡・連携
5 在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	在宅医療に関するフォーラム パンフレット等市民版 パンフレット等関係者版



11. 25年度の活動評価

○できたこと

- ・準備会議を3回開催
⇒在宅医療・介護連携推進会議(代表者)
課題別WGへ ☆24時間体制WG
☆情報共有WG
☆認知症対応WG
- ・関係機関へのあいさつ
⇒ミニ勉強会
- ・現状把握アンケートの準備
- ・長寿医療研究センターとの連携
- ・市民公開講座の後援
- ・庁内関係会議への参加
- ・認知所地域支援ネットワーク
検討会議の開催



わかったこと
どの機関、どの職種にも
温度差あり！

12. 事業の評価指標

評価指標	26年12月	26年4月現在	27年3月
在宅医療・介護連携推進会議 準備会議(代表者会議)開催回数	0回(準備のみ)	3回(準備会議) + 1回(代表 者会議) = 4回	代表者会議9回
在宅医療介護連携推進会議全体会 の参加人数	会議なし	3月23日 地域支え合い体制づくりにつ いて考える研修会の参加人数70人	年度最後の会議の参加人数 100人
居宅療養管理指導を月4人以上行う 医師(医療機関)数	2	2	4
24時間対応する訪問看護事業所数	3か所	3か所	4か所
24時間対応、定期巡回・随時対応 訪問介護看護事業所数	0か所	0か所	1か所
上記指定ではないが、24時間対応 可能な訪問介護事業所	1か所	1か所	4か所
在宅療養支援診療所数(県医師会あ いち在宅医療ネットより)	4医療機関	4医療機関	増加
訪問看護実施数(事業所の実績報告)	未把握	現在アンケート実施中	増加
市民意識調査(65歳以上)在宅医 療の満足度	未実施	26年度途中で調査予定	上昇
市民向けラムフォーラム、講演会数	0回	1回	3回



13. 27年3月のビジョン

◆市民が在宅医療を身近に感じることができる

在宅医療に関心を持つ人の増加
終を含め在宅生活を、自分で選べるまち

◆関係機関が在宅医療を通して、顔みえる関係となる。

在宅支援診療医師、歯科医師、薬剤師数の増加
24時間体制の訪問看護事業所の増加
24時間体制の訪問介護事業所の増加

◆15か月以降も継続していける体制ができている。



14. 10年後のビジョン

「幸齢社会の実現」

～誰もが大府で暮らして、幸せを実感できるまち～

- ◆在宅医療があたりまえのまち
- ◆エンディングは自分で決めることができるまち
- ◆子どもから大人まで、誰もがかかりつけ医を持つまち
- ◆認知症・介護を予防できるまち
- ◆住み慣れた地域で暮らしていけるまち





WHO健康都市おおぶ

15. まとめ

27年度以降も継続して、
みんなで、市民を支える
在宅医療介護をめざして
います。



大府市 「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」
Welcome to Oobu City



WHO健康都市おおぶ

16. 補足



①市民公開講座「元気な幸齢社会を迎えるために」

講演「いかに生きるか」講師 前千葉大学学長齋藤康氏
トークセッション「健康長寿時代の終を考える」

講師 国立長寿医療研究センター 名誉総長:大島伸一氏 同研究所長:鈴木隆雄氏
日時:5月13日(火)13時半～15時半 場所:市役所地下多目的ホール

②全体会議・多職種連携研修会

講演「在宅医療連携拠点推進事業とは～大府市の在宅医療の課題～」

講師:長寿医療研究センター在宅連携医療部長:三浦久幸氏
グループワーク「在宅医療介護の現場をお互いに理解しましょう」

日時:5月8日(木)13時30分～15時30分 場所:多目的ホール
日時:5月17日(土)16時～18時 場所:地下001～002会議室

